まちの話題

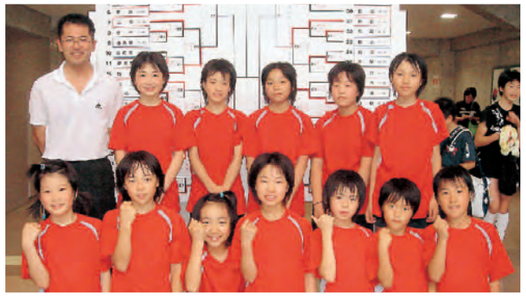
がんばりました！古園小・新切小・飯野小
サントリーカップバレーボール県大会

サントリーカップ第27回全日本バレーボール小学生大会長崎県予選大会（女子の部）が、６月30日㈯～７月１日㈰の２日間にわたり、諫早市小野体育館など４会場で開催され、南島原市からは、市予選を勝ち抜いた新切小学校（有家）、古園小学校（南有馬）、飯野小学校（布津）の３校が代表として出場しました。

飯野小学校は、１回戦で長崎市代表の西北小学校に健闘むなしく惜しくも敗退。新切小学校は１回戦シードで２回戦からの登場でしたがこれも諫早市代表の森山小学校に惜敗。しかし古園小学校が初戦、２回戦を勝ち抜き、３回戦で優勝候補の一角である佐世保市代表の赤崎小学校と対戦。結果は敗れたものの長崎県でベスト16に入るという大健闘を見せました。

３校の選手はみんなはつらつとしたプレーで会場を沸かせていました。今後の更なる活躍を期待しています。

▲新切小学校（有家）バレーボールクラブの皆さん


▲古園小学校（南有馬）バレーボールクラブの皆さん

▲飯野小学校（布津）バレーボールクラブの皆さん

いつまでもお元気で
100歳おめでとうございます

松島市長は１００回目の誕生日を迎えられた上杉さんのもとを訪れ、ご家族の皆さんと一緒に、記念品と花束でお祝いしました。

●上杉トミさん（加津佐町丙）
明治40年７月１日生まれ

熱戦が繰り広げられました　南有馬ナイターミニバレー

６月19日㈮、南有馬勤労者体育館で第27回南有馬ナイターミニバレーが開催され、ＡからＣまでの各クラス別に７～８チームずつがエントリーし熱戦が繰り広げられました。「明るくさわやかに」がモットーのこの大会は、幅広い世代から参加者を得ながら、年に３回開催されています。真剣さと笑いが同時に楽しめる大会は今後も引き続き開催されます。

▲Ａクラスの部優勝：アネーゴ

▲Ｂクラスの部優勝：山女海男

▲Ｃクラスの部優勝：ウメッシュ

子や孫のために
EM活用の地域づくり講演会

７月７日㈯、ありえコレジヨホールで南島原環境循環ネットワークが主催する「ＥＭ活用の地域づくり」講演会が開催され、約４００名の参加者はＥＭ菌の効果などについての事例発表や、実際にＥＭ菌で処理された生ごみの様子を見るなど、熱心に研修していました。

このＥＭ菌とは、一言で言えば、人体に安全な善玉菌のかたまりのことで、微生物の中のいくつかを組み合わせ活用します。効果としては、生ゴミを良質な肥料に変える、排水口・下水道・川や湖をきれいにする、悪臭を防ぐ（家畜やペットによるもの）などが期待できるそうです。

毎日市全体で収集される大量の生ごみを少しでも減らすため、同ネットワークの下田利春会長は「子や孫のために、ＥＭ菌を活用し、地球温暖化防止を推進していきましょう」と力強く参加者に呼びかけました。
（お問い合わせは 下田利春会長まで TEL0957-72-4611）

日頃の訓練が大切です
西有家地区消防団救命法講習

６月30日から７月22日にかけ、ＡＥＤを使った救命法の講習会が開催され、西有家地区消防団員約２００名が参加し、ＡＥＤの操作方法や心臓マッサージなどを学びました。ＡＥＤを使った講習は今回が初めてということで、講師となった南島原消防署員の指導のもと、消防団員は緊張した様子で訓練を行っていました。

見事な連携で被害最小
南島原消防署が感謝状

６月に布津町内で発生した火災で、通りがかったグリム・ジョエルさんの通報と自動車整備会社（田中保社長）の皆さんの素早い初期消火が火災を最小にとどめたとして、南島原消防署から感謝状が贈呈されました。英会話講師として来日しているアメリカ出身のジョエルさんは火災を発見した際、現在勉強中の日本語で身振り手振りも交えて現場に近い田中さんへ通報。田中さんは従業員の皆さんとともに、すぐに現場へ駆けつけ消火器などを使い消火しました。田中さんは有家町内の消防団に所属していることもあって、迅速な対応ができたそうです。表彰をうけたジョエルさんは「みんなが助かってうれしい」とにこやかに感想を話しました。

ありがとうございます
シルバー人材センターボランティア作業

７月１日㈰、南島原市役所（西有家庁舎）で南島原市シルバー人材センター西有家地区（代表末吉光男さん、本多巌さん）23名の皆さんが、ボランティアで庭木の剪定や草取りをしました。この日はむし暑い曇りの日でしたが、早朝から夕方にかけてまる１日の作業。本職さながらの手つきで、剪定ばさみをチョキチョキ。高い木の剪定には高所作業車も出動するなど本格的な作業となりました。本当にありがとうございました。